

フォトグラファーズ & フォトビジネスフェア

PHOTONEXT 2025 [開催レポート]



6月10日 [火] - 11日 [水]

パシフィコ横浜 B ホール

主 催 : 株式会社プロメディア

主催団体 : 日本フォトイメージング協会

一般社団法人日本写真映像用品工業会



写真 : 2025 公式アンバサダー・鎗木志織 (中央) / 撮影 : kanon

1. 開催概要

■開催期間：2025 年 6 月 10 日（火）～ 11 日（水）
搬入日：6 月 9 日（月）

■展示会場：パシフィコ横浜 B ホール

■業界団体併催セミナー会場：2F 会議室

■出展社数と出展小間数：91 社 227 小間
（テーブル出展含む）

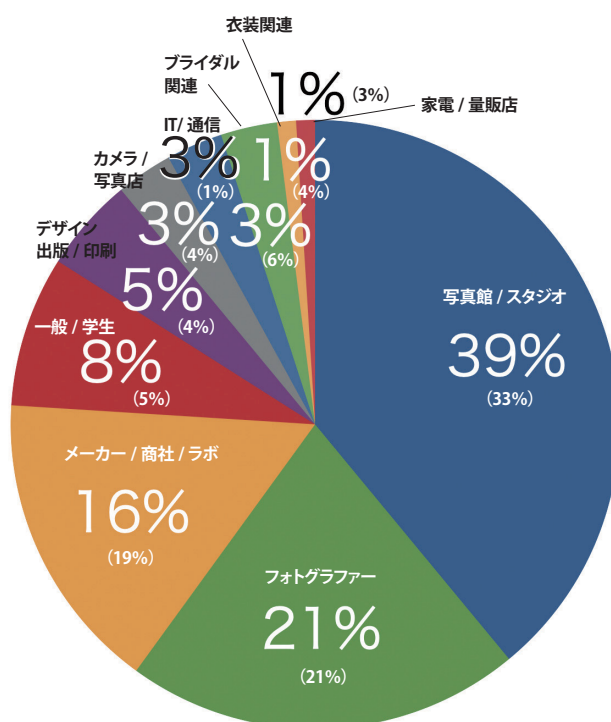
■主催：株式会社プロメディア

■主催団体：日本フォトイメージング協会
一般社団法人日本写真映像用品工業会

■特別協賛：日本営業写真機材協会

■後援：横浜市 東京都

■協力：カメラ記者クラブ
公益財団法人国際文化カレッジ
全国記念写真事業協同組合
全日本写真材料商組合連合会
一般財団法人日本カメラ財団
公益社団法人日本広告写真家協会
公益社団法人日本写真家協会
一般社団法人日本写真学会
協同組合日本写真館協会
公益社団法人日本写真協会
日本写真芸術学会
一般社団法人日本写真著作権協会
一般社団法人日本写真文化協会 ※ 50 音順



■登録来場者数：受付で発行した入場者証の実数

	入場者数	前回実績
6 月 11 日	5,560 人	5,381 人
6 月 12 日	3,810 人	3,752 人
合計	9,370 人	9,133 人

■ 来場者層

・構成比（カッコ内は前回実績）は、写真館／スタジオが 39%（33%）、フォトグラファーが 21%（21%）、メーカー／商社／ラボが 16%（19%）、一般／学生が 8%（5%）、デザイン／出版／印刷が 5%（4%）、カメラ店／写真店／DP ショップが 3%（4%）、IT／通信関連が 3%（1%）ブライダル関連が 3%（6%）、衣装関連が 1%（4%）、家電店／量販店が 1%（3%）、となりました。

■取材プレス

・会期中は新聞社やカメラ雑誌社、写真業界誌（紙）など約 20 社に取材していただきました。

■ PR 活動

・会期 1 ヶ月前に「開催案内パンフレット」を約 10 万部制作し、過去来場者に加え、出展各社の取引先にも広く配布させていただくとともに、業界団体会報誌への同封、フォトギャラリーや横浜市の観光案内センターおよび主要施設でも配布いただきました。また公式ホームページや公式 LINE アカウントをはじめ SNS において、出展ブース情報やアウトレット出品物、セミナープログラム等を案内しました。

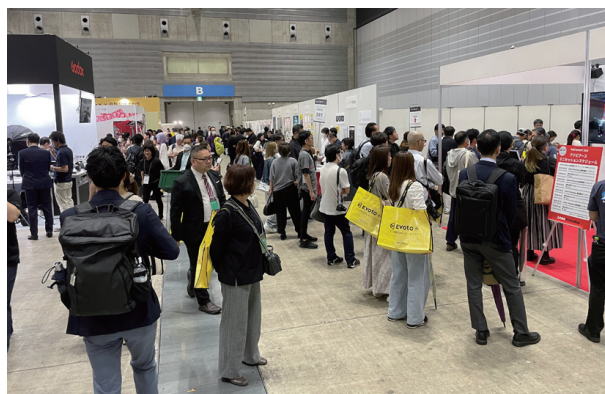
■開催主旨・内容

・「PHOTONEXT2025」は、主催：株式会社プロメディア、主催団体：日本フォトイメージング協会、一般社団法人日本写真映像用品工業会により、上記の概要にて開催されました。

・「フォトグラファーズ&フォトビジネスフェア」のコンセプトを掲げ、「写真の撮影分野と写真関連商品の流通分野を対象に、市場の活性化と需要拡大、さらには展示会とセミナーを通じて撮影に携わるプロフェッショナルとビジネス関係者のレベルアップを図り、あわせて消費者に写真・映像の豊かな喜びを提供し、充実したライフスタイルづくりに貢献する健全な業界形成と発展を目指す」ことを目的に開かれました。

・15回目の開催となった今回、衣装関係をはじめ15社の新規出展があり、多彩な顔ぶれとなりました。

・独立小間の出展が多かったことなどからセミナーステージを1つ削除したこともあり、セミナープログラム数は約30本と前回よりも少なくなりましたが、より充実した内容に絞り込んだことで、2日目の最後のプログラムまで聴講する来場者も多く、今回も滞留時間の長さを印象付けました。業界団体主催セミナーも、前回と同様の規模で実施しました。



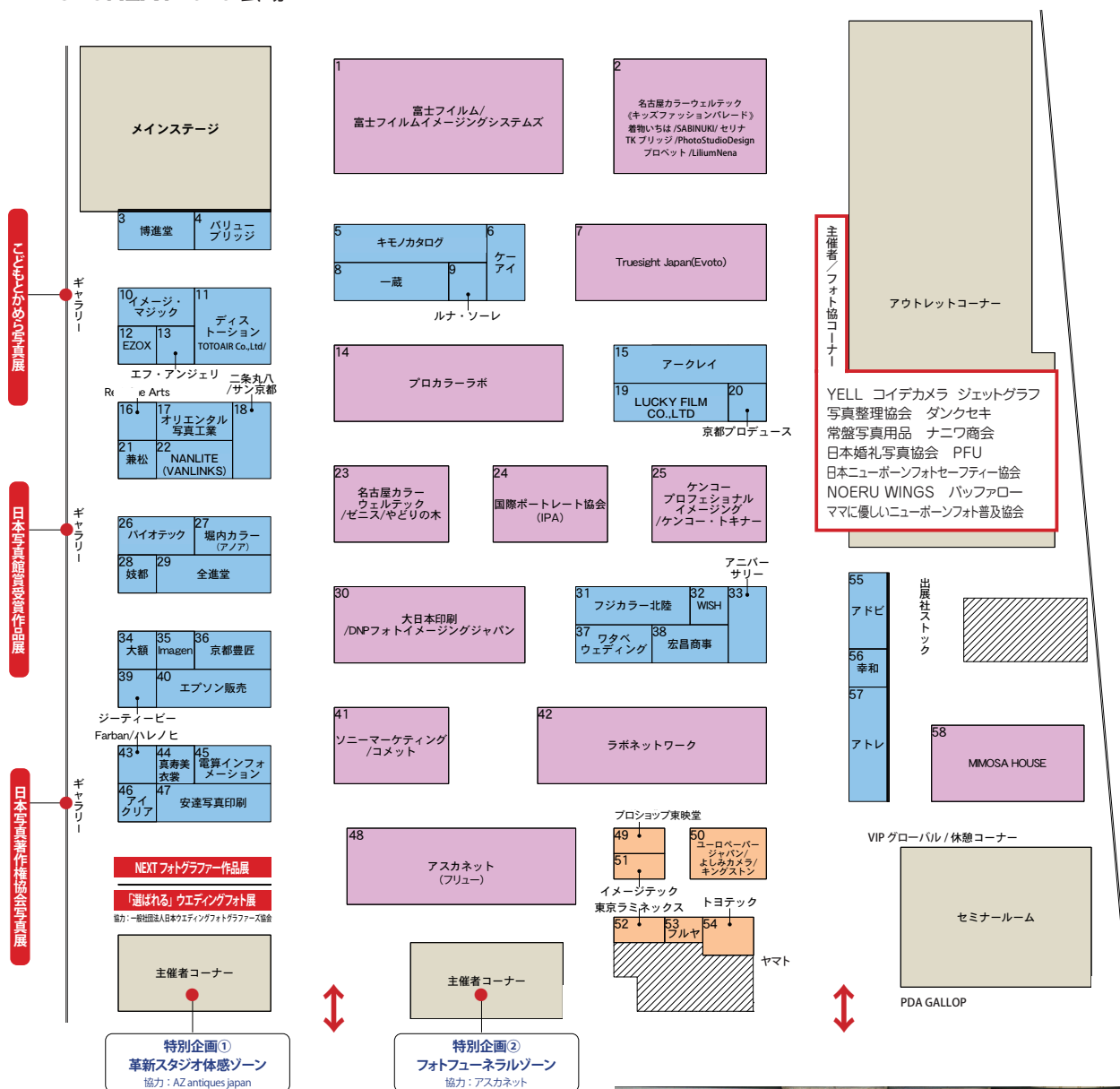
・2025のテーマは「Wa～和 to 輪～」(日本の和・調和と輪＝円[縁]を作る、丸くするの意)としました。「和を以て貴しと為す」という聖徳太子の言葉もあるように、日本、そして世界が丸く平和になるように想いを込めました。日本には「和装文化の素晴らしさ」があります。それを日本だけでなく海外にも伝えとともに、和装写真の楽しさ、そしてそこから生まれるコミュニケーションや写真を通しての交流を発展させ、伝えていきます。

・15周年を記念して、今回は2つの主催者企画コーナーを設置。1つは「革新スタジオ体感ゾーン」、もう1つは「フォトフューネラルゾーン」です。どちらも来場者参加型、体験スペースとして開放、最先端の情報を発信し、注目を集めました。



2. 出展社の展示

PHOTONEXT2025 会場 MAP



・展示ホールでは、最新の写真機材、アルバム、ソフトウェア、プリントサービス、関連用品などが展示されました。日本のプロフェッショナル写真分野に関わるメーカー、商社、ラボ、流通などの各社が参加し、写真館、写真店、DP ショップ、フォトグラファー、ブライダル分野、家電量販店、出版、印刷、デザインなど幅広い層に、最新のビジネス機材 & ソリューションの提案が行われました。

・新規出展社のなかには、前回に引き続き AI による画像レタッチを提案して注目を集めたほか、フィルムやペーパーといった感材関連のブース出展もありました。海外出展社でも AI や感材関係を強力にアピールしているとこ



ろもあり、あらためて写真の総合展示会としての奥深さを印象づけました。ブース内セミナーも効果的に実施しながら、新商品や新サービスの紹介コーナーへ誘導するなど、さまざまな試みが功を奏しており、賑わいを見せました。

3. 展示会場および別会場での開催イベント

メインステージ・プログラム

6月10日（火）	6月11日（水）
選ばれ続けるフォトグラファーの成功法則とは？ 森藤 ヒサシ / 早坂 華乃（国際ポートレート協会）	フォトグラファー・スタジオが今だからこそ知るべき「飾る」「めくる」プリント商品がもたらす感動と収益 飯田 聡子（FOTOPIA） / 徳本 雅美（MEMOAL）
日本写真館賞表彰式 ワールドフォトグラフィックカップ（WPC）表彰式	《特別セッション》KodomotoCameraFes! ・商品撮影を仕事にするには？独学からでも叶う！ステップアップポイント 山下 あや（moririnmama photography） ・地元ファミリーに選ばれ続けるスタジオ運営－フレンチカントリーの世界観×リピーター戦略 ゲルバンド愛（Atelier One of a Kind） ・海外フォトコン受賞者が語る！作品撮りが大切な理由 大久保真理子（フォトグラファー） / 早坂 華乃（プライスレスモメント） ・愛が伝わる家族写真術：感動を生むポージングとクオリティアップの秘訣 堀井 真智子（CREA 写真館 by ニッコリフォト） / 今井 しのぶ（こどもとかめら）
写真価値の再定義 写真と写真屋さんのこれからを考える 松本 考司（富士フイルム執行役員 / 富士フイルムイメージングシステムズ代表取締役社長）	
【パイオニアグリーンサークル（PGC）特別セミナー】 ～子育てと写真館経営～ “ママ”であり”フォトグラファー”である私の生き方の模索 桑島 絵理（桑島写真スタジオ）	
【伝統と革新】 濱田 恭輔（STUDIO PHOTOS / photo studio NORTH）	PHOTONEXT2025 公式アンバサダー表彰式

・セミナープログラム数は約40本、2日目の最後のプログラムまで聴講する来場者も多く、今回も滞留時間の長さを印象付けました。業界団体主催セミナー（一般社団法人日本写真学会、日本フォトイメージング協会）も、前回と同様の規模で実施しました。

■メインステージ

・その年のPHOTONEXTを象徴する大きなテーマに基づいてセミナー講演を行うステージとして、今回も展示ホール内に設けました。

・初日のトップは「選ばれ続けるフォトグラファーの成功法則とは？」と題して、フォトグラファーでありフォトスタ

ジオも経営する森藤ヒサシ氏と早坂華乃氏の2名によるトークセッションが行なわれました。森藤氏は、今回初出展した一般社団法人国際ポートレート協会（IPA）の代表理事であり、早坂氏は同協会のインストラクターを務めています。

・そのほか、「写真価値の再定義～写真と写真屋さんのこれからを考える」「フォトグラファー・スタジオが今だからこそ知るべき『飾る』『めくる』プリント商品がもたらす感動と収益」といった、写真をプリントにすることの価値や得られる幸せ、喜びなどをテーマにした講演も行なわれ、カタチにして残すことの意義を考える機会となりました。さらに公式アンバサダー表彰式や、日本写真館賞およびWPCの表彰式も執り行なわれました。



セミナールーム・プログラム

6月10日（火）	6月11日（水）
あの eggfilm が登壇解禁！インスタマーケと Evoto レタッチの親和性と未来 有川 昇吾（eggfilm 代表） 樋口 綾（Truesight Japan〈Evoto〉マーケティングマネージャー）	広告カメラマン 20 年継続依頼の秘訣 国際フォトアワード受賞作品の実践あり やまぐち千予（PIYOCAMERA） 主催者企画セミナー
ニューボーンフォトを「寄れるレンズ」と「明るい、コンパクトな LED 照明」で撮影、作例と機材を解説 小倉 美幸（フォトグラファー） 協力：ケンコー・トキナー	安全に使うオンライン写真販売と オンライン卒業アルバム編集システム 協力：ジーティービー ※当初予定の講演中止
「あなたの知らない現像・レタッチの世界」 一写真の価値を上げるために 故島 永幸（WPC WPE AsiaWPA 国際審判員 BIPP フェローシップ） 協力：全進堂	人工知能で大量編集を最適化 イルコ アレクサンダロフ（光の魔術師・フォトグラファー） 協力：imagen
ウェディングフォトにおける GODOX ストロボの活用 松本 和広（スマイルフォトキャッツ） 協力：ケンコープロフェッショナルイメージング	めざせ！人生の記念写真家 選ばれ続けるフォトグラファーへの道 渡辺 未知（日本ウェディングフォトグラファーズ協会理事長） 主催者企画セミナー
少子化での影響と現状、これからの「卒業アルバム」とは？ 吉岡 俊二 / 吉岡 孝二（フォトスタジオエル） 主催者企画セミナー	家じまいと写真～2 人のフォトグラファーから見る “家じまい撮影”の現在地～ 三澤 武彦（三澤武彦写真事務所）/ 藤田 温（KATACHI PHOTO PROJECT） 司会進行：山下 亮（PDA GALLOP 代表取締役社長）

■ 15 周年記念主催者企画コーナー

・体験型スペースとして、今回は2つの特設ゾーンを設置。「革新スタジオ体感ゾーン」では、本格プロフェッショナルな撮影空間を演出するとともに、最先端の撮影ビジネスのヒントが随所に散りばめられていました。

・写真や映像を取り入れることで、さらにメモリアルな葬儀セレモニーを提案する「フォトフェューナラルゾーン」では、最新サービスのほか「遺す写真展」なども関連イベントも行なわれました。

■ セミナールーム

・出展社が主体となって行う公開セミナーは、単なる自社製品の PR を行うのではなく、外部講師を招いて実施することで、多くの来場者を吸引しました。本年も7社がエントリーし、撮影テクニックや次代のフォトビジネスをサポートする画期的な AI ソフト、スクールフォトの現状や取り組み課題をクローズアップした内容なども盛り込まれました。

・前述の通り、今回はセミナーステージが1つ少ない分、セミナールームの講演本数を増やしました。主催者企画セミナーとしては計4本用意し、うち一般社団法人日本ウ



エディングフォトグラファーズ協会（JWPA）理事長の渡辺未知氏による「めざせ！人生の記念写真家～選ばれ続けるフォトグラファーへの道」は、後述するギャラリー展との連動も図りました。



■アウトレットコーナー

・出展社が現行品以外の商品を出品する人気の物販コーナー。今回も前回と同様 25 社が出展し、前年と同様、撮影機材や撮影用小物のほか、振袖やドレス、子ども服などの衣装も多数販売されました。

・今回はお買い得商品をいち早く購入しようと、受付開始前に 100 名近くが展示ホール入口付近にて待機するほど、開催前から熱気に満ち溢れていました。コーナー前の待機列は午後になっても途切れることなく、前回以上に根強い人気を誇っていました。

■ギャラリー

・「こどもとかめら写真展」「日本写真館賞受賞作品展」「日本写真著作権協会写真展」に加え、今回は JWPA 会員による「選ばれる」ウェディングフォト展と、第 1 回 NEXT フォトグラファー展も実施しました。

・前者は、JWPA 会員が撮影したウェディングやファミリーフォトのなかで「誰かに選ばれた」ということを切り口に作品を選び、そのエピソードを添えて展示。後者は若きフォトグラファーの発掘に向けて企画し、意欲的な作品を中心に構成しました。



■公式アンバサダー&侍のパフォーマンス

・リアルイベントや SNS 等を通じて PHOTONEXT を盛り上げる公式アンバサダーは、今回のテーマ「和」にちなんで募集。たくさんの応募のなかから、厳正な審査を経てグランプリ（1 名）と特別賞（1 名）を決定しました。

・グランプリに選ばれた鍋木志織氏は NPO 法人和と人の交流ちとせ代表で、女侍としても活動。日本文化の普及と可能性を追求されています。特別賞を受賞した熊澤裕美子氏は、数年前から日本文化体験イベントを主宰し、着物をはじめ和の伝統美の魅力を発信してきました。

・今回のメインビジュアルについて、撮影企画を担当した写真家の小林鉄斎氏は、「2025 年の『和』を根幹に、日本の伝統美と現代的な視点を融合させたもの。そして、停滞した現代日本への強いメッセージを込めています。その象徴として、侍が手にする日本刀は、私たち日本人の精神そのものを体現しています。固く強靱でありながら、鋭い切れ味を持つ刃は、内に秘めたる強さと、現状を打破する力を表しています」と語ります。

・会期初日にメインステージにて表彰式を実施。関係者によるスピーチのほか、女侍としてのパフォーマンスも行なわれ、盛り上がりました。



■有料セミナー

・本年は6本のプログラムを2F会議室で実施。ニューボーンフォト関連セミナーは、事前申し込みの段階で定員に達し、なかには20名以上がキャンセル待ちというプログラムもありました。そのほか婚礼和装振付けや医療的ケア児をモデルに撮影レクチャー、集客につながるスタジオづくりなど、即実践につながるバラエティに富んだ内容を用意しました。

■業界関連セミナー

・以上の各セミナーのほかに、業界関連団体主催のセミナーも併催。日本フォトイメージング協会主催セミナーは6月10日に計3セッション、一般社団法人日本写真学会ら主催によるセミナーは6月11日に計6セッション行なわれました。



4. 2026 年に向けて

・次年度の開催は、パシフィコ横浜 B ホールで、6月16日（火）～17日（水）の2日間、搬入日は同15日（月）に決定いたしました。

・テーマは「SMILE ～笑顔と感謝～」を考えています。2025年のテーマにある「和」には「平和」の意味も込めていました。笑顔は世界を明るくします。笑顔にあふれ、感謝の気持ちが伴うことで、平和な世界に結びつくのではないかと、この考えをもとに名付けました。

・主催および主催団体は、定期的に月1回のペースで実行委員会を開いて開催の準備活動を行ってきました。引き続き実行委員会での各種企画立案、準備作業を中心にして、さらに充実したフォトグラファーズ&フォトビジネスフェアの開催を目指します。

